

八王子市制 100 周年記念事業第 34 回全国都市緑化はちおうじフェアのイベントとして
「小田野中央公園第 9 回秋のワークショップ」が開催されました！



平成 29 年 9 月 24 日（日）、第 9 回秋のワークショップが開催されました。

今年、八王子市制 100 周年記念事業 第 34 回全国都市緑化はちおうじフェアの西部地区イベント会場として花壇をつくりました。1 月から花壇の位置と規模を決める話し合いを行い、公園の中心部に配置することが決定しました。3 月に花壇づくりチームメンバーを募集したところ、約 40 名が集まりました。4 月から数回のワークショップを行い、チームメンバーの意見をまとめて、「ありがとう」をテーマにした植栽計画をつくりました。また、地元の造園業者さんに施工を依頼し、5 月にひょうたん型の石積み花壇が完成しました。6 月には植栽が完了し、花壇名は「ひょうたん花壇」、花壇チーム名は「チームひょうたん」と命名しました。ひょうたん花壇完成後は、チームメンバーの結束も高まり、トイレ南側の公園エントランスに公園利用者をお出迎えする「ウェルカム案内板」と案内板の周囲に「ウェルカム花壇」をつくることになりました。7 月から計画を練り、8 月に植栽と看板のデザインを計画しました。9 月に地元の NPO 小津倶楽部さんから提供された地元の木材（ヒノキ厚板と栗の柱）を使ったウェルカム案内板（青木さんの手づくり）と、ウェルカム花壇が完成しました。秋のワークショップ当日は、花壇の前にブースを設置し、ハーブ水をふるまって、新しいチームメンバーを募集したところ、1 名が加入してくださいました。たねダンゴを子ども達とつくり、各家庭に植えてもらうようにお土産として持ち帰ってもらいました。また、公園中央入り口付近花壇の縁石用の石に子ども達が「ありがとう」の思いを絵で表現してくれました。公園を紹介する絵図を掲載したパンフレットを作成し、地域住民や市の施設に配布しました。絵図はウェルカム案内板の説明プレートにもなりました。



チームひょうたんメンバーが花壇の前で石森市長と記念撮影



ウェルカム案内板・花壇

秋のワークショップの司会は、恩方中学校生徒会長及び副会長が担当しました。また、恩方中学校と、聖パウロ学園の生徒さんが、ボランティアとしてさまざまなコーナーのお手伝いをしてくださいました。

野外ステージでは、「レインボー」さんの参加型ダンスパフォーマンス、「パームツリー」さんのウクレレ演奏とフラダンスの共演、「太極拳倶楽部」さんの整体太極拳演武、「近藤摩郎&岡戸」さんの津軽三味線とアフリカの太鼓ジャンベ共演、そして最後にはお子様から大人まで参加してクッション飛ばし大会が行われました。

クヌギ林では、ドラムサークル「まこりんと太鼓で遊ぼう」が行われ、打楽器を叩いてリズムの一体感を共有しました。カラフルに装飾をした樹名板もたくさんできました。

あそびコーナーはパウロの森クラブの手づくりクラフト、バッティングセンター、紙飛行機づくり、竹とんぼづくり、竹笛づくり、凧づくり、まちづくり市民塾の無線交信体験、和紙絵葉書づくりと盛りだくさん。ボランティアの生徒さんがよくお手伝いしていただいたおかげで、凧づくりは昨年の1.5倍近くの参加者がありました。

食べ物コーナーは、地元ボーイスカウトの焼きそば、障害者施設グループGのちぢみ、萌愛調理専門学校餃子の餃子、美山学園の手づくりパン、まちづくりの会のフランクフルト、ポップコーン、駄菓子、One Day Coffee Standのコーヒーが提供されました。

また、八王子市公園課の皆さんが宮城県女川町の復興支援として笹かまぼこなどを販売しました。

川があり、雑木林があり、自然の植物と桜並木があり、花壇もできて、ますます季節の彩が感じられる公園になりました。これからも、公園の活動を通して、地域のみなさんの関係づくりを、楽しく、長く続けていきたいと思います。

広報部 木住野



参加型ダンスパフォーマンス「レインボー」



整体太極拳



ウクレレ演奏・フラダンス 「パームツリー」



津軽三味線とジャンベの共演
近藤摩郎と岡戸さん



ドラムサークル「まこりんと太鼓で遊ぼう」



竹笛づくり





樹名板づくり



カラフルな樹名板が
できました



パウロの森 丸太切り体験



凧づくりはボランティアの生徒さんが大活躍



座布団とばし大会



One day Coffee stand



花壇縁石ペイント



とん汁 まちづくりの会



八王子消防署元八王子出張所消火訓練



女川町復興支援



美山学園ふっくら亭パン販売



駄菓子販売

春咲きたねダンゴを小学生が植えました。

秋のワークショップでは、6月に元木小学校3年生と恩方第一小学校2年生の児童が撒いた「たねダンゴ」が、見事に開花し、河川沿いの法面を色どりしました。11月には児童が今年2回目のたねダンゴを植えました。3月のさくらまつりの頃には、きれいな花を咲かせているかな？



たねダンゴから咲いた花々



元木小3年生が亀の日時計花壇に花の苗を植えてくれました。



恩方第一小2年生がたねダンゴをつくり、滑り台の横に植えてくれました。

小田野中央公園と関わって～花壇づくりを通して～

今回、はちおうじフェアの修景アドバイザーとして、私は主に小田野中央公園の修景づくりのお手伝いをさせていただきました。今年の1月に公園を管理・運営しているまちづくりの会の方々からお話を伺い、この公園に美しい花のスポットをつくり、公園に来てくださる子どもから大人まで、さまざまな人により楽しんでもらおう。そしてさらにこの公園を綺麗に飾ってくれる新しい仲間を集めようという想いで、花壇チームの募集が始まりました。実際に夏の暑期中、みんなで花を長く咲かせるように手入れをしたり、話し合いを重ねていくうちに、だんだんとチームが打ち解けていったような気がします。子どもから元気な80代の方まで、このひょうたんチームは、花に詳しい人や、ものづくりが上手い人、絵が上手な人、子どもの好きな人、パソコンが得意な人、写真が得意な人、いつも率先して動いてくれる人、体力のある人、ムードメーカーなど、多様な方々が集まり、いろいろな場面で力を発揮してくださいました。さまざまなアイデアや知識が集まることで、鳥の餌台のあるひょうたん花壇や、来園者に情報を発信するウェルカム案内板など、この公園らしい、自然や地域の人とつながる素敵なスポットが増えたのではないかと思います。活動を通して私もいつのまにかメンバーに会う事がとても楽しみになっていました。これからも微力ではありますが、一緒に楽しく活動が続けていきたいと思っています。



全国都市緑化はちおうじフェア西部地区修景アドバイザー アトリエたね代表 島田 史枝

公園が地域の宝であり続けることを願って

「小さなお子さんをつれて、安心して遊べる公園にしたい」という地域のみなさんの希望を実現すべく、小田野中央公園は今も終わりのない公園づくりに取り組んでいます。まちづくりの会は公園を良くしたいアイディアをもっている方や、ちょっと草刈りでも一緒にやってみようかなという方を大募集中です。

花壇づくりや、公園整備、公園イベントの運営などに関わって、楽しみながら地域の宝をつくりませんか！まずは、体験を。



公園で行うまちづくりの会の活動予定
2018年3月18日(日) 第11回 さくらまつり開催

まちづくりの会は、公園の活動を通して、
共助のまち・支え合いのまちづくりを目指しています。